

いざという時に どうする？

～防災知識を見直そう～

つくし保育園 防災チーム

吉瀬・黒川・富田・永田・斉藤

①日本各地で頻繁に災害が起きているから



能登半島地震や台風などの影響から水害・土砂災害など

②昨年、川崎市の防災研修を受けて

マンネリ化した
防災訓練の
在り方



このままでいいのか？

園として 見直す必要性を感じた

具体的な取り組みとして “防災士” 藤實先生の園内研修を実施



防災意識を高めた

藤實先生の研修で学んだこと

実際地震が
起こった時に
動けない

想定力を養う
力が必要



正しい身の守り方



実際に災害に遭う場面の 想定力(=もしも) の防災訓練へ

- 7月…プールあそび(幼児) 水あそび(乳児)
- 8月…お昼寝中
- 9月…食事中
- 10月…引き取りチェック表の活用
- 10月…水害訓練
- 11月…第一避難場所(小学校)への避難



3歲

4 · 5歲



【2歳児クラス】食事中の想定

すぐに動ける広さがないため、
その場で頭を守る姿勢を取った





揺れが収まり
ブロックを撒いて
ガラスの破片が
散らばった状況を
作った

食事中の想定のため
実際におままごとの
お皿やコップを
並べて行なった



実際に**想定**して行った訓練から
新たな発見・疑問点

7月

プール中の地震

- ・ プールから出るがどの時点で着替える？
- ・ 着替える場所は？

8月

午睡中の警戒アラートが鳴る

- ・ 泣いて起きる子
- ・ 連鎖して泣く子の対応
- ・ 上履きを履くように促す難しさ

9月

食器が落ちる可能性

- ・ 机の下は安全か？
- ・ 破片が足に刺さるのでは？

改善していったところ

プール時のバックや
上履きの置く場所を
屋上入り口から
テラスへ変更



お昼寝時の
幼児の上履きを
自分のコットの
下へ置く



乳児の園庭靴は
避難靴でもある為
園庭靴棚をやめ
持ち運びできる
入れ物に変更



保護者への引き渡しチェックリストの活用

災害時緊急引き渡し一覧									
	氏名	引き取り者	時間	令和6年度	月	日	5歳児	ぶどう組	災害発生時間より ラインを引いて記入
				引き渡し者	特記		時間	在席人数	
1									
2								7:00	20:00
3									
4								8:00	21:00
5									
6								9:00	22:00
7									
8								10:00	23:00
9									
10									

- ・ 引き取り者
- ・ 時間
- ・ 引き渡し者
- ・ クラス在籍人数が記入できるようになっています。

職員や子ども達（幼児）の話し合いから

職員

幼児

①

大きな地震が
来たら部屋は
どうなる？

- ・棚の上の物や玩具、扇風機や電気が落下する
- ・扉が外れる、開かなくなる
- ・椅子や机が動く
- ・棚や加湿器が倒れる

- ・ガラスが割れる
- ・棚の上の物が落ちる
- ・床に物が散らばる
- ・天井が落ちる
- ・壁が倒れる、崩れる

②

部屋の中で
安全な場所は？

- ・部屋の中央(周り落下物がない空間)
- ・ガラスや扉のあるところから離れている場所

- ・テーブルの下
- ・物がいないところ
- ・先生のところ

③

けがをしないよう
どうやって
身を守ったら
良いか？

- ・布団をかけたり、体を小さくしてダンゴムシポーズを子どもに伝える
- ・部屋の中心に子どもを集める
- ・避難靴の保管方法(防災リュックの傍)
- ・窓に飛散防止フィルムを貼る
- ・机の下にもぐる(机の脚もしっかり抑える)
- ・お昼寝中の場合、自分の布団を頭に被せてダンゴムシポーズ
- ・防災頭巾をかぶる
- ・クラスの逃げられる場所を知っておく
- ・静かにする、上履きと靴下を履く

- ・ダンゴムシポーズ
- ・身近にあるもので頭を守る
- ・テーブルの下に隠れる

その他の取り組みとして

保護者へ

伝言ダイヤルカードを

配布

つくし保育園

「災害伝言ダイヤルの使い方」

☆保育園からの伝言の再生方法

- ① 171 に電話する
- ② ガイダンスに従い、2 を押す
- ③ 保育園の電話番号

044-223-7531

を押す

- ④ 保育園からのメッセージを聞く

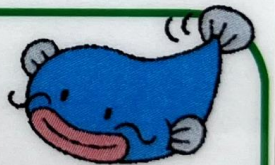


災害伝言ダイヤル体験日

毎月15日

(15日が平日の時のみ実施)

※体験日のメッセージにはクイズ
があります。お迎えの時にクイズ
の回答をお願いします！！



防災リュックの見直し

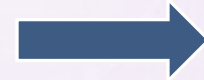
散歩兼防災リュックの中身の**再確認**をした

水 (ペットボトル5001本)
ティッシュ
紙コップ (5個)
ブルーシート
雑巾タオル (2.3枚)
おしりふき
ウェットシート
着替え2セット
(長袖/長ズボン/肌着/パ
ンツ/オムツ)
※乳児→オムツのみ
※3歳→両方

防犯ブザー
ビニール袋
(45ℓ/大/小)
避難地図
筆記用具
(ハサミ/油性ペン/ボール
ペン)
応急処置セット

※散歩時の物に加えて
おんぶひも (乳児のみ)
さらし (全クラス)
マスク (個包装×5)
ガムテープ数枚
トイレットペーパー
軍手
防犯ハザードマップ兼関係機関一覧

子どもも大人も
災害に対する
共通の意識がある



日頃から保育士が
伝えている“言葉”を
子どもたちがしっかり
受け止めていると実感！

職員一人ひとりが
あらゆる場面に
備える大切さ

具体的な保育環境を提示することで…



防災意識が高まった

いざという時の判断や対応力をイメージ共有



命を守る楯になる！

まとめ・今後の取り組み

防災意識の継続

- ・ 防災意識の関心を持ちつつ保育する
- ・ 職員だけでなく、子ども（幼児）との振り返りも毎回しっかり行っていきたい

一人ひとりの想定力の向上

→ 様々な保育場面設定を行い
次年度の防災年間計画に取り組む

**保護者と一緒に
防災対策の共有**

保護者も参加や
伝言ダイヤルの活用・定着
⇒防災意識への共通認識へ…



ご清聴ありがとうございました